

Press Release(H30/3/26)

サラマンカ大学・岐阜薬科大学・岐阜大学三大学連携学術シンポジウム がん研究の最前線 ～がん克服に向けて（対がん）～ を開催します

岐阜大学は、サラマンカ大学（スペイン）及び岐阜薬科大学とともに、岐阜県で開催されるサラマンカ大学創立800周年事業の一環として、シンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、先述の事業をきっかけとして、「がん」に関する三大学における最新の学術研究成果を持ち寄り、議論することで、本分野にかかる相互の発展と今後の交流の進展を目的として開催されます。※詳細は、別添のチラシをご覧ください。

ついては、貴社の情報コーナー等への掲載及び当日の取材について、よろしくお願ひします。

なお、シンポジウム終了後引き続き「学術連携基本協定締結式」が開催されます。これについては別途リリースする予定であることを申し添えます。

記

- ・日時 平成30年4月14日（土） 13:00～15:00
- ・場所 OKB ふれあい会館 3階302大会議室（岐阜県岐阜市藪田南5-14-53）

<プログラム>

13:00 開会挨拶 岐阜大学長 森脇久隆

サラマンカ大学総長 リカルド・リベロ・オルテガ 博士

13:10 講演 平山祐 准教授（岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室）

二価鉄イオン検出のための多様な蛍光プローブ開発研究

遠藤智史 講師（岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室）

マルチターゲット型去勢抵抗性前立腺癌治療薬の創製研究

赤尾幸博 教授（岐阜大学連合創薬医療情報研究科）

K-Ras 変異がんに対するマイクロRNA 医薬の開発

森崇 教授（岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科） /

平島一輝 特任助教（岐阜大学連合創薬医療情報研究科）

イヌモデルを用いたマイクロRNA 核酸医薬およびバイオマーカーの開発

ホセ・プステロ 博士（サラマンカ大学科学高等研究センター がん研究センター）

がんにおける治療標的候補としてのRho GTPase アクチベーターの遺伝学的同定および検証

ヘスス・マリア・エルナンデス・リバス博士（サラマンカ大学バイオメディカル研究所）

HARMONY：血管悪性腫瘍の予後改善プロジェクトに関するビッグデータ

14:55 閉会挨拶 岐阜薬科大学長 稲垣隆司

【問い合わせ】

岐阜大学グローバル推進本部国際総務室
電話：058-293-3351